

オピニオン opinion

○富岳通運株式会社

専務取締役

佐藤

正氏



山梨を拠点とした「総合物流業」を目指して

当社は昭和19年に設立、現在は総合物流事業を展開しています。総合物流事業とは単に輸送を行うだけでなく、商品や製品の受発注、倉庫での保管や在庫管理、物流加工、配送などを一括して請け負う事業です。当社は、総合物流事業を展開することで、顧客が商品開発や製造・販売に専念できる体制を提供することを目的に事業を行っています。

また、当社は人が関わる「衣・食・住」全ての物流に関してサービスを提供していきたいという考えから、業種を限らず百貨店や衣料品店、食品製造業、住宅設備業など、多岐にわたる業種の企業と取引をさせていただいています。

山梨県で設立し事業展開を行ってきた当社は、できるだけ沢山の人を雇うという雇用創出もひとつの社会的使命だと考えています。今後、新卒者や高齢者を含めて積極的に採用し、生き生きと働ける職場づくりを行っていききたいと考えています。また、女性従業員も増えてきていることから、女性管理職の積極的登用も行っていききたいと思っています。

大手の製造工場の閉鎖により何百人単位の雇用が消えることが話題となりますが、県内の多くの中小企業が雇用面から地域社会を支えていることがもっと評価されて良いと思います。

物流拠点として見た場合、山梨という立地は大きな魅力を含んでいます。甲府市を起点に半径約100km輸送時間90分の範囲には、東京、神奈川、埼玉、長野、静岡等の一部が含まれ、この地域の人口は約1,250万人にもなります。大手企業もこれだけの範囲をカバーできる物流拠点として、山梨県に注目しています。

最近では圏央道の延伸による相模原区間の開通があり、今後も中部横断道の静岡区間の開通などのインフラの整備が進むことで、物流圏はさらに拡大され、本県の魅力も大きく増すことでしょう。

この山梨の地を物流拠点として機能を高めていくことが本県の発展につながるものだと考え、当社もその一翼を担い貢献していきたいと考えています。